

東京DMAT(緊急消防援助隊)の要 気仙沼市での活動概要

第2回災害時における救急業務のあり方に関する作業部会

平成23年8月23日 14時00分 法曹会館

東京消防庁救急部副参事 島山 晋

東京DMATについて

○目的

大震災等の自然災害をはじめ、大規模交通事故等の都市型災害の現場へ災害医療派遣チーム(Disaster Medical Assistance Team)が出動し、一刻も早い救命処置を行うことにより、一人でも多くの都民の生命を守る。

○根拠規定

災害医療派遣チーム(「東京DMAT」)運営要綱

平成16年7月22日付16健医救第276号

東京DMATの出場（都内）

○出場要請

- ・知事が東京DMATの出場要請を行う。
- ・東京DMATの出場に関する事務は、東京消防庁指令室が行う。

○要請基準

- ・重症者2名以上又は中等症者10名以上の負傷者等が発生し、迅速に医療機関に搬送できない場合若しくはその可能性があると指令室又は現場に出場した消防隊が判断した場合
- ・東京DMATが出場し対応することが効果的であると指令室又は現場に出場した消防隊が判断した場合

○活動要領

- ・東京DMATは、東京消防庁の現場指揮本部の指揮下で医療救護活動を行う。

東京DMAT連携隊(都内)

○東京DMAT連携隊

東京消防庁は、東京DMATを現場へ搬送し、また、現場で活動支援を行うため、東京消防庁東京DMAT連携隊(以下「連携隊」という。)を設置する。

連携隊の編成等に関する事項は東京消防庁が別に定める。

東京DMATの編成、資格、補償、被服等

1 編成

1チーム：医師1名、看護師等2名

2 資格

指定病院の推薦を受けた者で、知事が指定する研修を修了した者の中から、運営協議会の認定した者を東京DMAT隊員として登録する。

3 補償

都が傷害保険に加入する。

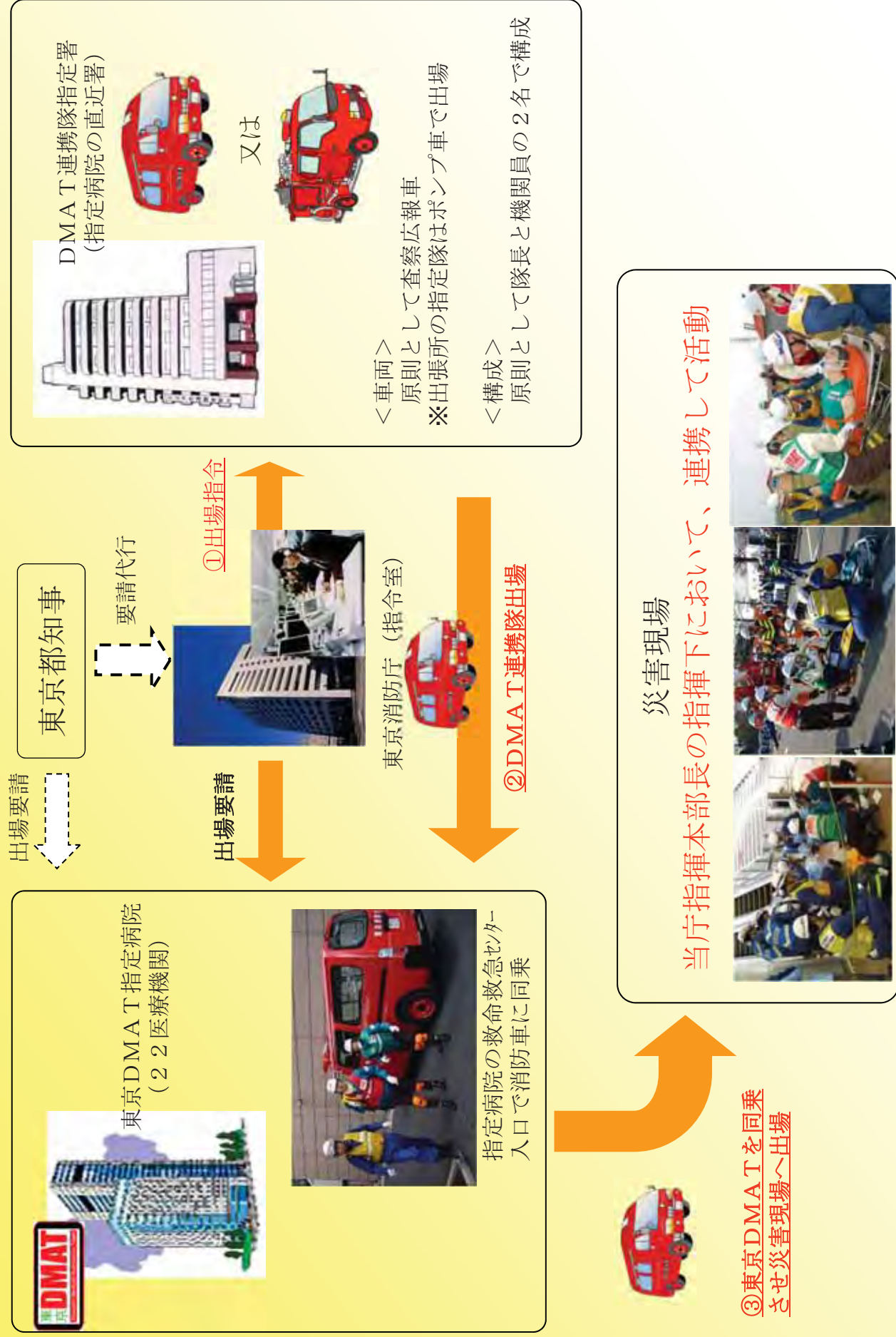
4 被服等

現場に携行する医療資器材、ユニホーム等の装備品は東京都が整備する。

5 その他

地域住民の認知度を向上させ、消防隊との連携訓練を推進するため訓練運営協力金制度がある。

東京消防庁東京DMA T連携隊の通常運用（概略図）



東京DMATの都内の活動実績

平成16年度	10件
平成17年度	8件
平成18年度	78件
平成19年度	58件
平成20年度	61件
平成21年度	38件
平成22年度	50件
平成23年度	17件(8月16日現在)

※東京都福祉保健局調べ

○東京DMAT指定医療機関

平成23年4月末現在 22医療機関

※救命救急センターを有する医療機関を指定していく。

東京DMATの出場（都外）

○出場根拠

「東京DMATの都外派遣に係る申し合わせ」（平成18年8月22日福祉保健局と東京消防庁との申し合わせ。）

○出場要請

- ・知事が東京DMATの出場要請を行う。

○要請基準

- ・緊急消防援助隊東京都隊が出場する際に、災害現場で人命救助の活動効果を高めるために、東京DMATの出場が有効であると東京消防庁が判断した場合。

○編成要領

- ・福祉保健局は、出場可能な東京DMATを東京消防庁に連絡し、東京消防庁は連携隊を決定し出場要請を行う。

○緊急消防援助隊としての位置付

東京DMATは、救助隊として位置づけられています。

東京DMATの活動(都外)

- 1 被災地域内の医療情報の収集と指揮支援隊長又は東京都隊長(以下「指揮支援隊長等」という。)に対する医療面の助言
- 2 指揮支援隊長等又は指揮支援隊長等が指定した者の指揮下における消防部隊と連携した医療救護活動
- 3 消防部隊への医療の提供

「東京DMATの都外派遣に係る申し合わせ」抜粋

地震発生：平成23年3月11日 14:46

- ◆ 震源地：三陸沖
- ◆ 規模：M9.0
- ◆ 最大震度：7(宮城県栗原市)
- ◆ 派遣先：宮城県気仙沼市
- ◆ 東京DMAT：12隊
- ◆ 連携隊数：12隊+救急副本部DMAT支援隊
- ◆ 派遣期間：3/11～3/19

出場 隊

- ◆ 第1陣 白鬚橋-向島1, 帝京-板橋1
救急副本部DMAT支援隊
- ◆ 第2陣 都立広尾-高輪SQ, 都立墨東-本所1,
青梅総合-青梅L, 東京医大-中野1
東京医大八王子医療-富士森1
- ◆ 第3陣 東京医療C-目黒SQ, 東邦大森-大森1
都立多摩総合-府中1
- ◆ 第4陣 杏林大学病院-三鷹1、
東京女子医大病院-牛込1

東京DMAT関連の時間経過(救急副本部記録)

3/11

- ◆ 15:02 福祉保健局 東京DMAT待機要請
- ◆ 20:40 東京消防庁 東京DMAT2隊要請 (21:07 福祉保健局2隊決定)
- ◆ 21:30 第1陣 DMAT連携隊出場命令 (23:00 東北自動車道蓮田SA集結)
- ◆ 21:55 救急副本部DMAT支援隊出場
- ◆ 23:25 東京消防庁 東京DMAT5隊要請 (0:42 福祉保健局 最終5隊決定)

3/12

- ◆ 1:15 第2陣 DMAT連携隊出場命令 (2:30 東北自動車道蓮田SA集結)
- ◆ 3:10 東京消防庁 東京DMAT3隊要請 (3:30 福祉保健局 3隊決定)
- ◆ 4:40 第3陣 DMAT連携隊出場命令 (7:15 東北自動車道蓮田SA集結)
- ◆ 9:55 第1陣 仙台市宮城野消防署到着
- ◆ 13:25 第1陣 気仙沼へ転戦命令
- ◆ 16:15 第3陣 気仙沼到着 活動開始
- ◆ 17:24 第2陣 気仙沼到着 活動開始
- ◆ 18:30 第1陣 気仙沼到着 活動開始

3/14

- ◆ 10:00 東京DMAT8隊 引揚命令 (22:10 帰署、帰院)
白髭、八王子医療、東京医大、帝京、青梅市立、東邦大森、都立多摩総合、国立東京医療C
- ◆ 10:06 第4陣 交替DMAT連携隊出場命令 (12:00 東北自動車道蓮田SA集結)

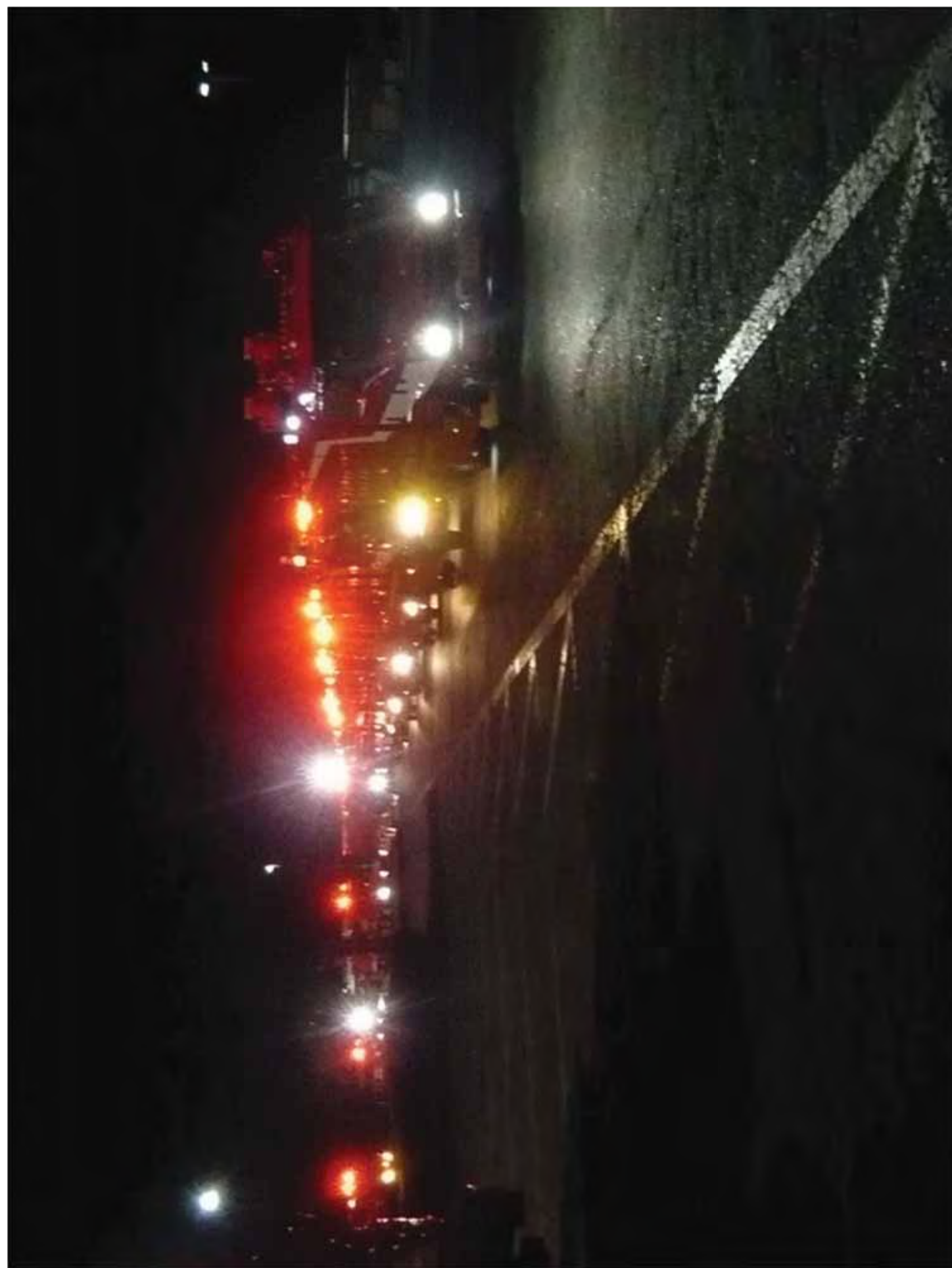
3/15

- ◆ 0:00 第4陣 気仙沼到着 活動開始は5時から
- ◆ 14:40 東京DMAT2隊 引揚命令 (16日 3:10 帰署、帰院) 都立墨東、都立広尾

3/18

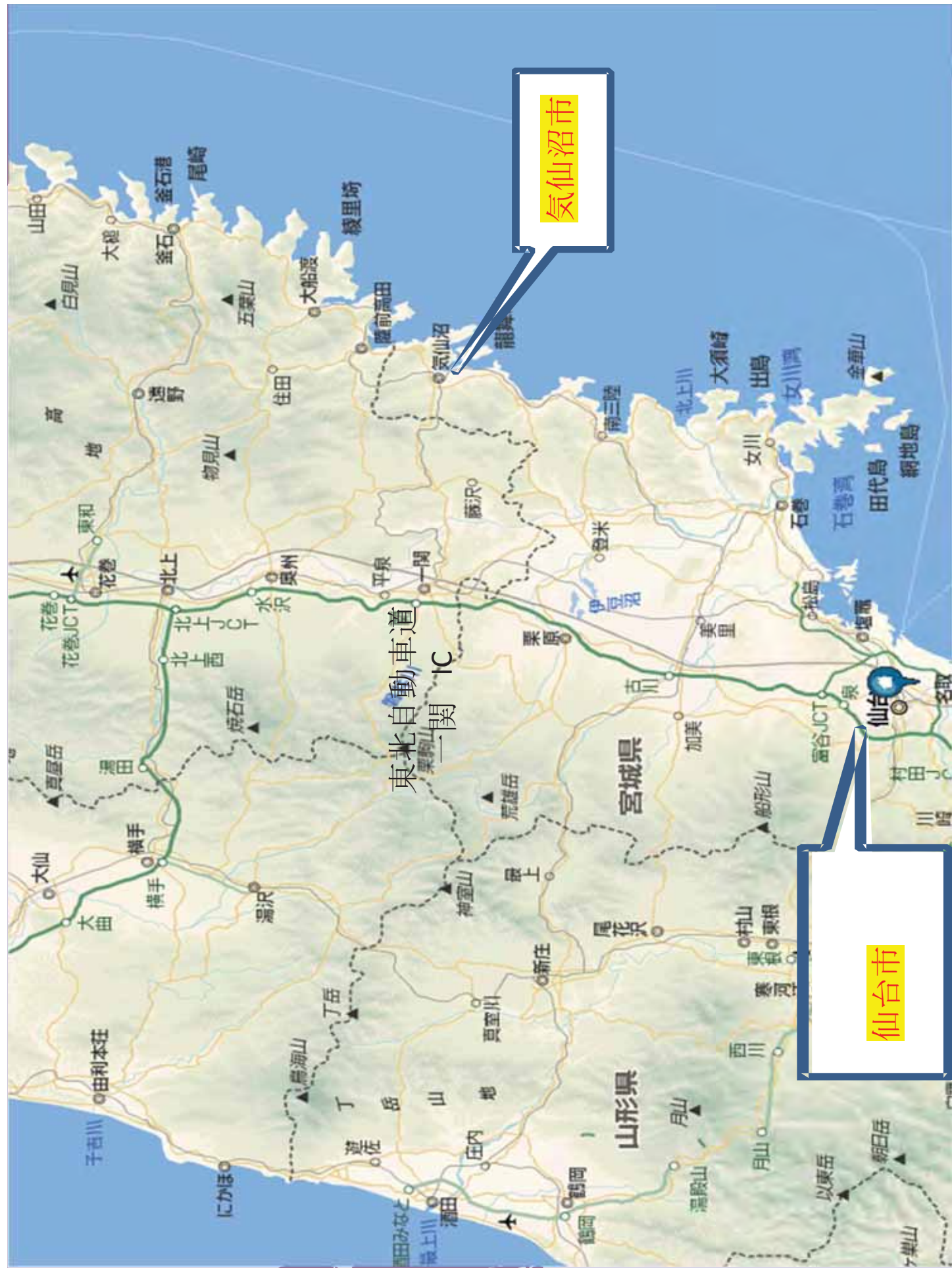
- ◆ 23:15 福祉保健局 東京DMAT待機解除
- ◆ 23:40 東京DMAT 2隊最終引揚命令 (19日 11:50 帰署、帰院) 杏林、女子医大







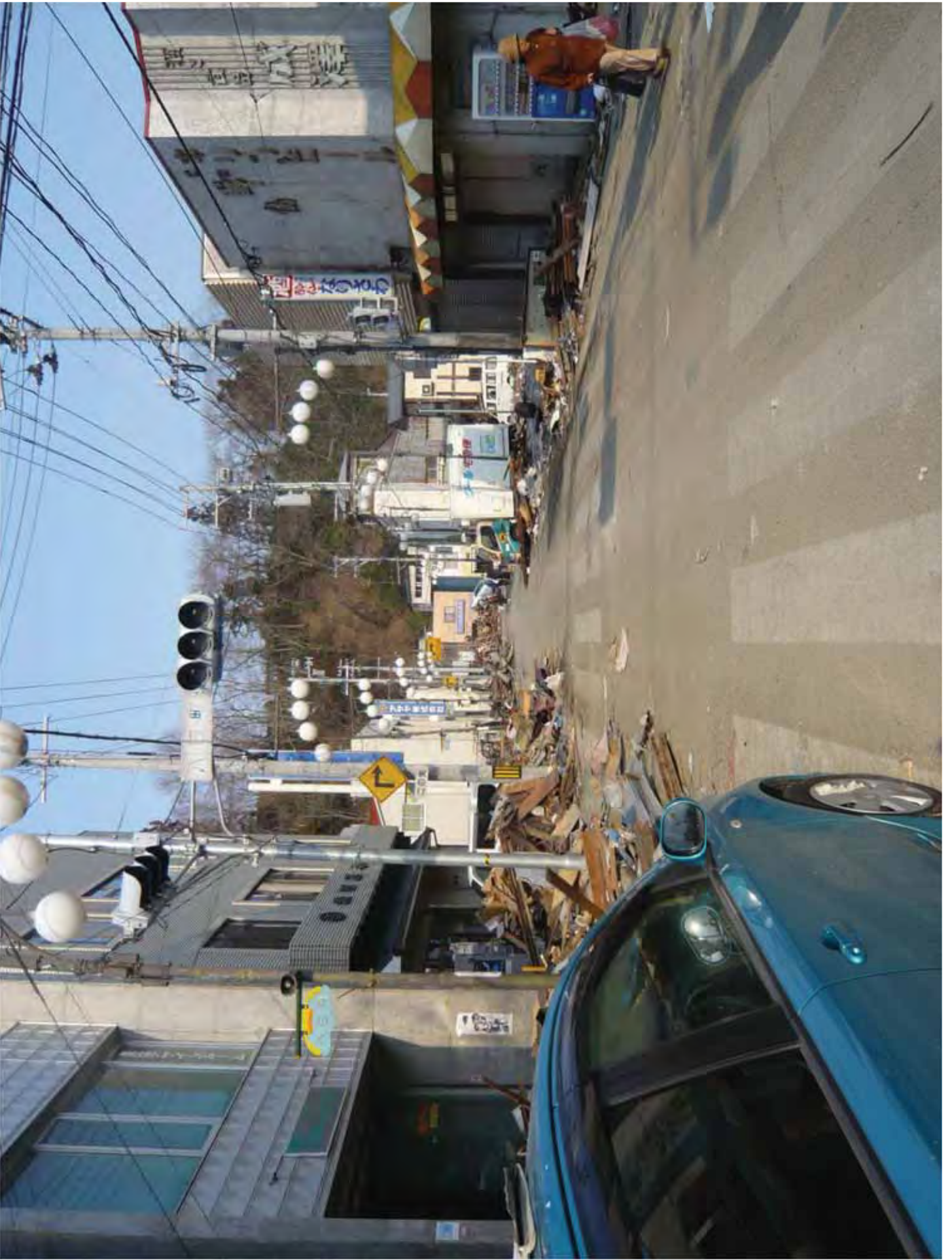




気仙沼市

仙台市

東北自動車道
一関IC







2011/03/13 15:58



トリアージスペース

臨時離着陸場

気仙沼市五右衛門が原臨着場





「東京DMAT連携隊」と表示



東京DMAT指揮支援本部



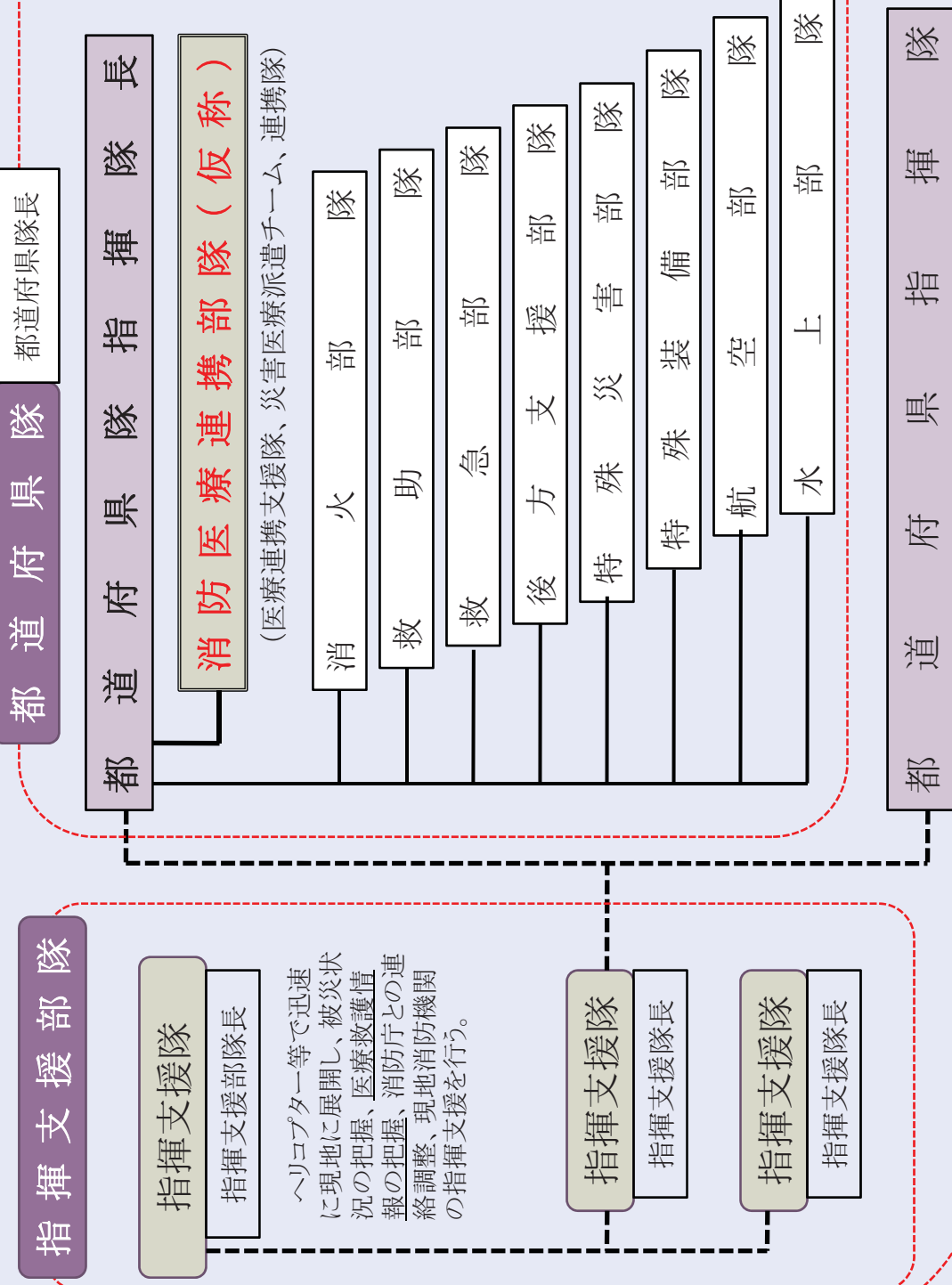
寒さは写真に写りません

専用の東京DMAT指揮支援車
が必要！



都道府県隊の部隊編成(案)

消防調整本部の指揮下で活動



東京DMAT活動方針

- 被害実態等の把握
(右も左もわからない。)
- ヘリ搬送傷病者のトリアージ
(応急処置、搬送順位決定)
- 緊急消防援助隊(火災現場)との連携活動
(救助者発見時の救護活動)
- 気仙沼市立病院の支援
(医療機関、避難所での医療支援)
- 消防隊員に対する治療体制確保
(24時間体制の医療提供体制確保)

気仙沼市鹿折地区





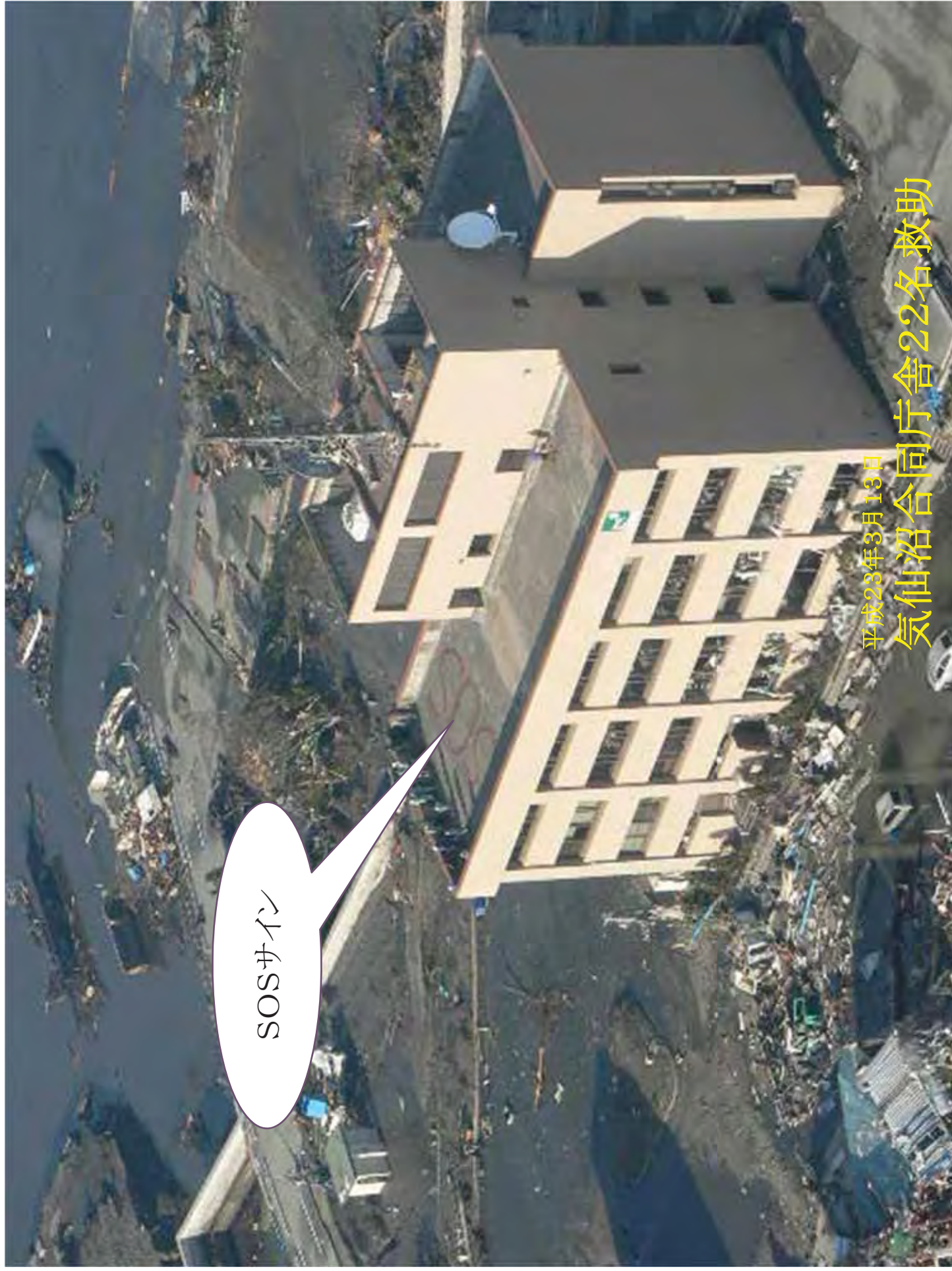


気仙沼市中央公民館(11名へリで救助)

SOSサイン

平成23年3月13日

気仙沼合同庁舎22名救助



状況把握 1

- ◆ 救助された方は元気か、死亡しているかのいづれかである
- ◆ 津波により要救助者の多くは、死亡している可能性が高い
- ◆ 水没地域の建物屋上や孤立地区の要救助者が多く、高齢者が多い
- ◆ 水没地域や孤立地区は陸上部隊が近づけず、へりによる救助が続くと考えられる
- ◆ 消火活動中の地域で要救助者が発見される可能性はある

状 況 把 握 2

- ◆ 要救助者は高齢者が多いことから、時間経過とともに衰弱する可能性がある
- ◆ 唯一機能している病院は気仙沼市立病院である
- ◆ 消防隊は夜を徹して活動しており、怪我人や急病人が出る可能性がある
- ◆ 携帯電話は不通、無線も届きにくく現場の指示、命令、報告、連絡に支障を来している
- ◆ 照明、水、トイレ、食糧、睡眠場所、防寒など全て不十分な状況である。

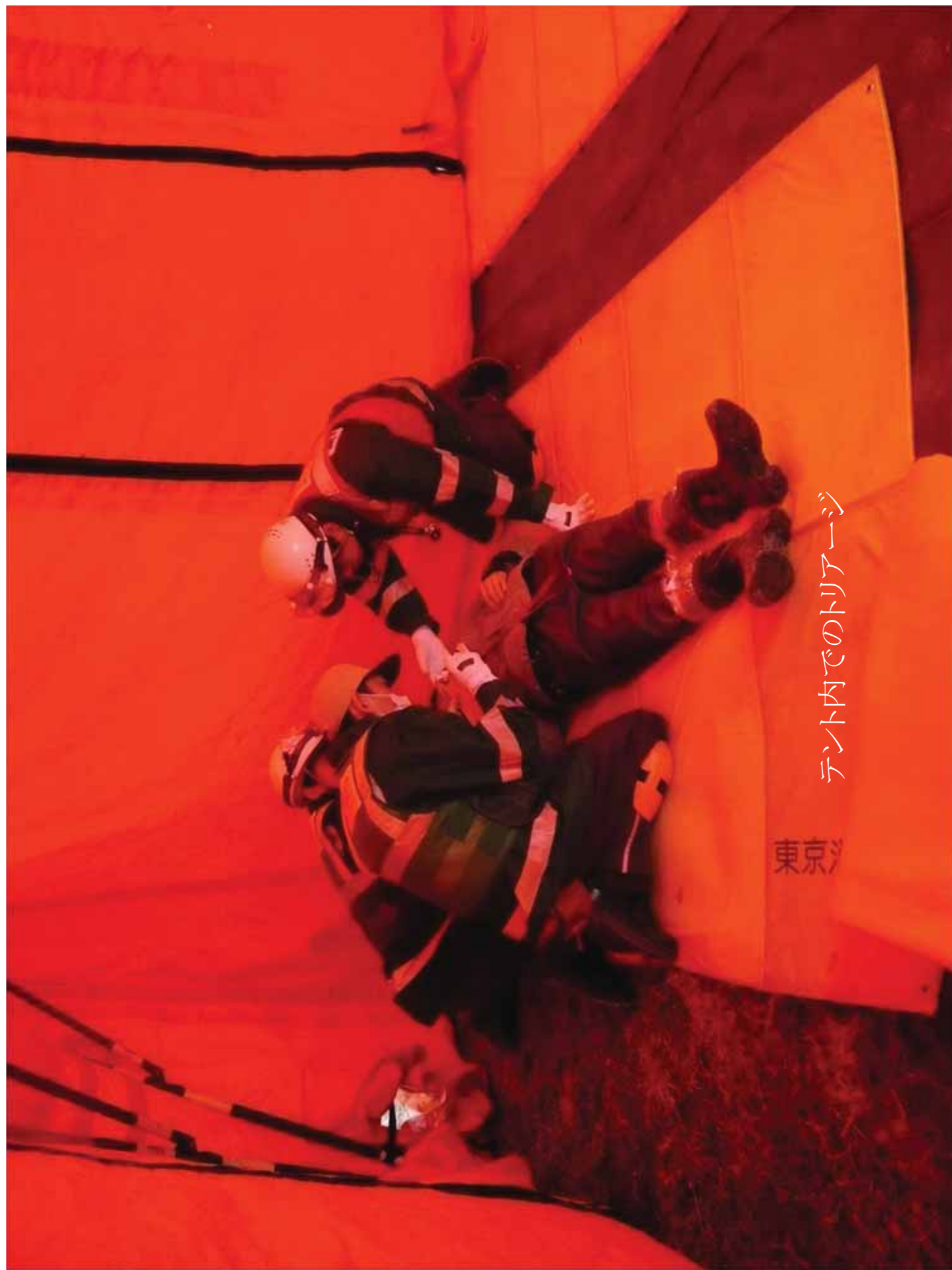






トリアージテント





テント内でのトリアージ

市バス(避難所への搬送)

